

第18回 スポーツ会館 小学校スーパードッジボール大会 参加要項 (KOTOチャンピオンズリーグ予選会)

【開催日】 令和7年11月9日(日曜日)

【場所】 **江東区東砂スポーツセンター 2階 大体育室**

江東区東砂4-24-1 電話 03-5606-3171

※駐車場はございません。公共交通機関などでお越しください。

※自転車は必ず駐輪場に停めてください。センター前面道路は区道のため
路上駐輪しないようお願い致します

【受付場所】 **東砂スポーツセンター(全学年)1階ロビーにて行います。**

3年生・4年生の受付時間 8時15分～ 8時30分

5年生・6年生の受付時間 13時00分～ 13時15分

※受付は、必ず各チーム引率者が行ってください。(選手だけでは受け付けません。)

※受付時に当日の参加者の最終確認をおこないます。

※受付終了後、階段を利用し3階へ移動してください。エレベーターの利用はできません。

選手・引率者・広報担当者は土足のまま観覧席へ移動し、

そこで室内シューズへ履き替えてください。(見学者は全チーム入館後に上がれます)

観覧席への入場は出場選手・引率者2名・広報担当1名のみとなります。

【開会式】 3・4年生 9:00

5・6年生 13:45

**※開会式は午前の部(3・4年生)のみとし、午後の部(5・6年生)は
13時45分より注意事項説明と準備体操のみ行います。**

※場内放送にてご案内します。チームごとに整列してください。

※各チームの見学者は3階観覧スペースからご見学ください。

【試合開始】 午前の部: 9時30分開始予定

午後の部: 14時00分開始予定

※全コート同時に試合を開始します。

【試合形式】 1. 組み合わせは、事前に事務局で行いました。

2. 競技は、前半5分・ハーフタイム1分・後半5分で行います。

(1試合の所要時間 15分)

3. 試合は、別紙進行表に沿って行います。

【見学場所】 **※3階観覧席には参加選手・引率者2名・広報係1名のみ入場可能となります。**

応援者は3階ロビーからご見学ください。

【試合数】 3年生 4チーム 決勝リーグ → 6試合

4年生 8チーム 予選リーグ + 決勝トーナメント → 16試合

5年生 8チーム 予選リーグ + 決勝トーナメント → 16試合

6年生 7チーム 予選リーグ + 決勝トーナメント → 11試合

合 計 27チーム 49試合

【表彰式】 午前の部（3・4年生）12時頃より表彰式・記念撮影のみ

午後の部（5・6年生）17時30分頃より閉会式後記念撮影

※進行状況により時間は変更となる場合がありますので、会場アナウンスをご確認ください。

※表彰式は、決勝リーグに進出したチームが対象です。

※決勝リーグに進出しないチームは、試合終了後自由解散となります。返却物は大会本部へ。

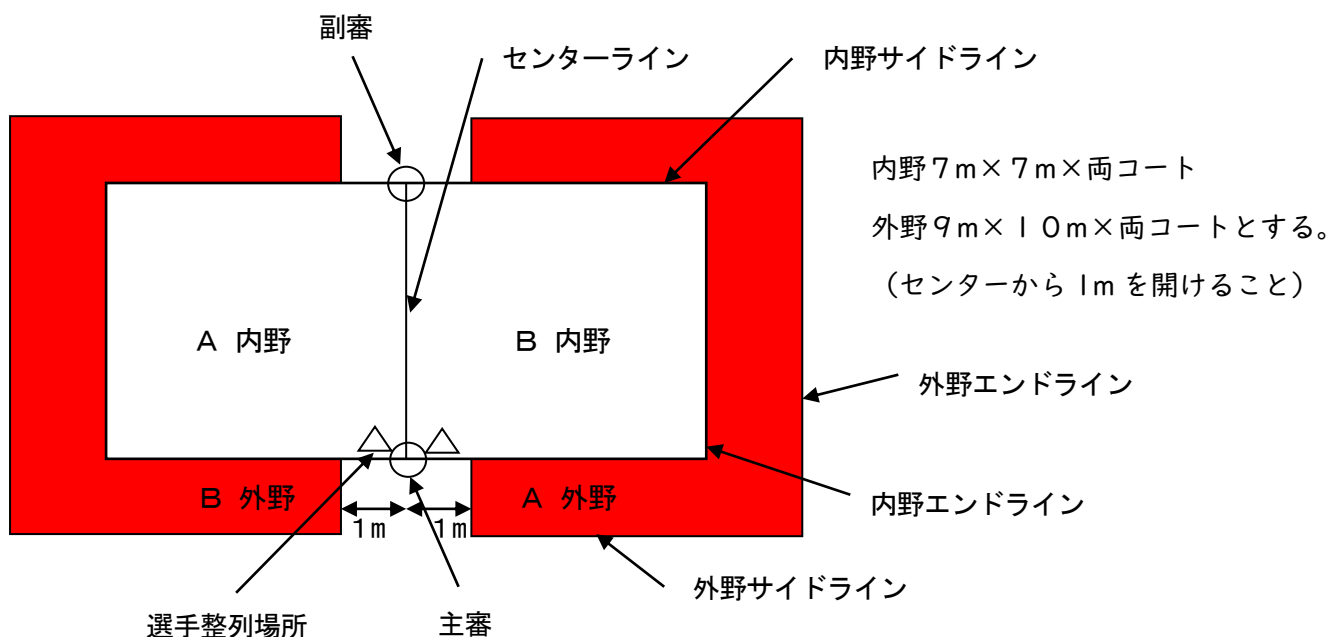
【賞品】	各学年1位	賞状・優勝カップ（表彰式終了後返却）・トロフィ・ボール
	各学年2位	賞状・トロフィ
	各学年3位	賞状・トロフィ
	各学年4位	賞状

【競技規則】

● 第1章 競技場および用具

第1条 競技場（コート）

1. 内野の大きさ 7m×14m
2. 外野の広さ サイドは、1.5mとする。
エンドは、3mとする。
3. 線の幅 5cmとし、上記の長さは線を中心から中心までの距離とする。



第2条 用具

1. 試合球は日本ドッジボール協会公認3号球（公式試合球）を使用する。
2. ユニホームは、同一チームであることが識別できる服装とし、ゲームベストを着用する。
なお、上履きは各自で用意する。（ゲームベストは、大会本部で用意する。）

● 第2章 チーム編成

第3条 競技チーム

1. チームは、同学校、同学年の競技者8名以上15名以下の男女混合で編成し、必ず各試合に登録メンバー全員を出場させることとする。また、試合（前半・後半）には必ず1名以上の女子を参加させること。

2. 競技のスタートメンバーは8名（内野5名・外野3名）とする。
けが人等で7名以下となった場合においても外野は3名の配置とする。
3. 女子選手が1名のみで、女子選手が試合中にケガをした場合、男子の控え選手がいたとしても、男子の補充はせず7名で試合を続行する。また、前半にケガで退場し後半復帰できない場合においても、男子の補充はせず7名で試合を行い、勝敗は通常のカウントとする。
4. 競技開始時に5名以下のチームまたは、女子のいないチームは失格となる。
なお、その場合の点数については、第7条の1から3と同様に相手チームの16対0の勝利とする。
5. 競技者のうち1名をキャプテンとし、キャプテンはキャプテンマーク（リストバンド）を着ける。

● 第3章 競技方法

第4条 競技方法

1. 競技開始

- (1) 競技は、チーム対抗形式で、1チーム8名の競技者がコートの中に入って行う。
- (2) 両チームは、センターラインをはさんで並び、挨拶を行う。
- (3) 競技は、主審からの「ゴーフアイト」の宣言で開始される。

2. 競技時間および競技終了

- (1) 競技時間は、前半5分・ハーフタイム1分・後半5分とする。
- (2) 競技時間内であっても、一方のチーム全員がヒットされた時は、ノックアウトになり競技終了となる。
- (3) 主審が特別に時間を止めない限り、どんな時でも競技時間は進行している。
- (4) 主審の宣言により競技は終了する。
- (5) 連続しての試合でない限り、試合終了後は速やかに退場口より退場する。

3. 競技

- (1) 主審の「ゴーフアイト」の宣言とともに、主審から定められたチームへボールを渡し試合は開始される。その際、第一投者は自コートの中心に立ち主審よりボールを受ける。
- (2) 試合前後半ともに主審から見て右側のチームのボールから試合開始とする。
- (3) 競技の目的は、相手チームの競技者を全員ヒットすることにある。
- (4) ヒットとは、相手チームの内野にノーバウンドのボールを当てそのボールが地に着くまでに相手の内野の誰かが捕球できない状態をいう。
- (5) 複数の内野に当たったり、触れたりしたボールを捕球できなかった場合は、そのボールに当たり触れた内野全員がヒットされたこととなる。
- (6) 捕球とは、一時的ではなく、完全にボールをキャッチし、コントロールしている状態をいう。
- (7) ヒットされた内野は、速やかにゲームベストを脱いで外野へ行かなくてはならない。その際、外野に出るまでにボールに触れてはならない。（ダブルタッチの禁止）
- (8) 競技者がヒットされた場合、ゲームベストを着けている元外野の競技者は速やかに内野に入らなければならない。なお、この内野に移動中の競技者にヒットしてはならない。
- (9) 味方同士のパス回しは20秒以内とする。20秒を超えるパス回しはオーバータイムの反則となる。
- (10) ラインクロスとラインオーバーは、いずれもラインアウトの反則となる。なお、ラインクロスとラインオーバーは、一連の投球動作が終了するまでとする。
- (11) 両外野エリアより外に出てしまったボールは、最後にボールに触れた競技者の相手チームの内野ボールとなる。
- (12) メンバー交代は、ハーフタイムにのみ行うことができる。ただし、けが等により主審が認めたときは、途中交代もできる。
- (13) 危険防止のため、首から上に投げられたボール（パスボールは除く）はヒットにならない。（ヘッドア

タックの禁止)なお、ヘッドアタックの反則は、主審の判断による。

(14) ボールを捕球してから5秒以内に投げなければいけない。5秒を超えるボール保持は、オーバータイムの反則となる。

(15) ボールデッドは、ボールがコート外の床についた時点とする。

4. 反則

(1) オーバータイムを宣告されると相手内野ボールとなる。

(2) ラインアウトを宣告されると相手内野ボールとなる。

(3) ダブルタッチを宣告されると相手内野ボールとなる。

(4) ヘッドアタックを宣告されるとヒットされた競技者はセーフになり、そのチームの内野ボールとなる。

(5) 故意のキックやヘディングなどによるプレーは、相手内野ボールとなる。

(6) スポーツマンシップに反する行為は、相手内野ボールとなる。

5. 注意

(1) 競技者とキャプテンは、競技マナーに反する行為があったときは、注意を受けることがある。

(2) 競技者が、軍手の着用や過剰なテーピング等、ボールを投げたり捕ったりする時に有利になることを行うことは認めない。

● 第4章 勝敗の決定

第5条 勝敗の決定

1. ゲームの勝敗

(1) 前・後半ごとの試合時間内に、相手選手を全員ヒットしたチームが勝ち。

(2) 前・後半ごとの試合終了時に、ゲームベストを着用している選手を数え、ゲームベストを着用している選手が多いチームが勝ち。(前・後半のゲームベストのトータルで勝ち負けを決定。前・後半ごとの勝敗は関係しない。)

2. 予選・決勝の勝敗

(1) 総当たりとなるリーグ戦の順位について

① 勝ち点制とし、ゲームに勝つと勝ち点3、引き分けると勝ち点1、負けると勝ち点0とする。
勝ち点が多いチームが上位となる。

② 勝ち点が同数の時は、全試合のベスト着用数の差(自分のチームのベスト数-対戦チームのベスト数)が多いチームが上位となる。

③ 勝ち点、全試合のベスト着用数の差も同数の場合

1) 2チームが同数の場合

イ、当該チームの直接対戦で勝ったチームが、上位となる。

ロ、当該チームの直接対戦で引き分けの時は、3分間の決定戦を行う。その際、キャプテン同士のジャンケンにより勝ったチームからのボールスタートとする。

2) 3チーム以上が同数の場合

ハ、当該リーグ全試合の相手チームの残りベスト数の合計が少ないチームが上位となる。(相手をヒットした数が多いチームが上位となる。)

ニ、上記ハも同数の時は、当該リーグ全試合の自チームの残りベスト数の合計が多いチームが上位となる。

ホ、上記ハ・ニの方法でも勝敗がつかない場合は、総当たりで3分間の決定戦を行う。

その際、キャプテン同士のジャンケンにより勝ったチームからのボールスタートとする。

3) 3分間の決定戦でもベスト数が同じ場合

3分間の決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。

(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

(2) 対戦しないチームが出るリーグ戦の順位について

勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)で決定し、勝ち点が同数の場合は、当該チームの直接対戦の結果で決定する。なお、決勝進出チーム決定において、勝ち点が同数で直接対戦していないチームがあった場合、または、直接対戦が引き分けとなった場合においては、3分間のみの決定戦を行い勝ったチームが上位となる。

3分間のみの決定戦でもベスト数が同じ場合は、決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

(3) トーナメント戦で、前・後半のゲームベストが同数で引き分けの場合について

3分間のみの延長戦を行う。3分間の延長戦でもベスト数が同じ場合、延長戦終了時のままゲームを継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。

(ヴィクトリーポイントゲーム (Vポイントゲーム))

なお、延長戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

● 第5章 審判員

第6条 審判の任務と権限

1. 審判員

(1) 審判員は、主審1名・副審1名とする。またコート係を置くことができる。

(2) 審判員は、中立公平を旨として、それぞれ協力して試合の充実に努めなければならない。

(3) 審判員は、試合進行について、事故のないように努めること。

(4) 主審の立つ位置は、センターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。副審も主審と反対側の同じくセンターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。

2. 主審の任務と権限

(1) 主審は、競技の進行と判定を行うため、ホイッスルを所持する。

(2) 主審は、副審やコート係の補佐を受けながら、下記の任務を遂行する。

① 正しく競技者が出場しているか確認する。

- ② 試合終了の宣告をする。
- ③ 試合開始の合図とともに主審から見た右側のチームの第一投者へボールを渡す。
- ④ 「ヒット」を判定し、競技者に宣告する。
- ⑤ 「相手ボール」を判定し、宣告する。
- ⑥ 「反則」を判定し、宣告する。
- ⑦ 「注意」を宣告する。
- ⑧ 勝敗の判定を行い、宣告する。
- ⑨ ブラインドプレーや判定に確信が持てないときなどには、副審に確認をしたうえで判定する。
- ⑩ ヘッドアタックや怪我につながるプレーがあった場合は、ゲームを一時中断し、競技者の安全を確認する。
- ⑪ 主審は、規則に明示されていないあらゆる問題に関して、判定を下す権限を持つ。

3. 副審の任務と権限

- (1) 副審は、特別な理由があるとき以外は競技を止めてはならない。ただし、危険防止や進行及び判定について主審に助言をするときは必ずゲームを中断して行う。
- (2) 副審は、ホイッスルを所持し主審を補佐しながら、下記の任務を遂行する。
 - ① ストップウォッチを所持し、オーバータイムや一時中断した時の時間の管理を行い、主審に伝える。
 - ② すべてのラインアウトを判定し、ホイッスルと動作によって主審に伝える。
- (3) 主審に事故があるときは、これに代わる。

4. コート系の任務

- (1) 試合をスムーズに進められるように主審・副審を補佐する。
- (2) ビブス係
ビブス係は、ヒットを宣告された競技者のビブスの脱ぎ忘れの確認と、元外野が速やかに内野に入るよう誘導する。
- (3) 外野係
外野係は、ボールの管理とビブス系の任務を兼任する。

● 第6章 競技の没収

第7条 競技の没収

1. 遅刻

指定場所へ指定時間までに集合しないチームに対しては、そのゲームを没収し相手チームの16対0の勝利とする。

2. 競技拒否

主審が競技を行うようチームに命じたにもかかわらず、これを拒んだときは、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

3. 不正出場

主審は、正当でない競技者が入っていると認めたとき、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

【チーム引率者への注意事項】

※駐車場はございませんので公共交通機関等でお越しください。

駐輪場の駐輪スペースに限りがございます。近隣マンションや道路、歩道への駐輪はご遠慮ください。

- ① 競技規則について引率者は必ず読んで確認をしてください。
- ② 各チーム代表者1名は開会式前（午後の部も同様に）3階会議室にお集まりください。
大会時における応援マナー等のお願いを大会本部よりお話しさせていただきます。
※時間の関係上、事務局からの説明のみとなりますのでご了承ください。
(集合いただく場所が変更となる場合がございます。本部よりアナウンス致します)
- ③ 受付は、必ずチーム引率者が行ってください。選手は、一度、3階観覧席に荷物を置き、準備ができ次第、申込を終えた引率者とともに、2階大体育室へ移動してください。引率者は、受付の際に引率者カードをお渡ししますので、首にかけた状態で入場ください。開会式を始めるにあたり、選手・引率者は指定された場所に整列してください。
なお、チーム指定された観覧席をしっかりと守り、他チームへ迷惑がかからないようお願い致します。
- ④ 受付時に当日出場選手のエントリー確認を行い、第1試合開始時に最終確定を行います。
(確定後の選手変更はできません。) また、当日、体調不良等で8名揃わない場合は、受付時にお伝えください。
- ⑤ 試合時間、試合コートの確認はチーム引率者が必ず行ってください。なお、チームの参加数により試合方法等に変更が生じる場合もあります。必ず当日の対戦表と進行表の確認をお願いします。
- ⑥ 3・4年生は9時より開会式を行います。選手の受付開始後、保護者の方は3階ロビー（観覧スペース）への入場が可能です。
※午後の部5・6年生の13時45分よりルール説明・準備体操のみ実施します
- ⑦ 選手招集の際はアナウンスをいたしますが、スケジュール表に従い、次の試合の選手を招集場所に試合開始5分前までには集合させてください。
また、試合進行上、スケジュール表の時刻が前後することがあります。引率者が試合進行の確認を行ってください。
- ⑧ チーム引率者1名は、必ずベンチにお入りください。なお、ベンチに入れる引率者は2名までで試合中はベンチに座り応援してください。ベンチ内での撮影はできませんのでご注意ください。
なお、ベンチ入りの引率者と広報係は必ず許可証を首からかけてください。
広報係の1名は指定された撮影エリアでのみ撮影してください（ベンチ入りはできません）。
それ以外の保護者の方々は3階ロビースペースでの応援となります。
- ⑨ 審判と話が出来るのはベンチに入っている引率者だけとなります。判定に対する抗議や審判への抗議は認めません。試合後のご意見等は必ず代表引率者が大会本部に来てお話しください。
特定の選手・審判に対しての暴言等は禁止します。
- ⑩ 大会役員が相手を委縮させる大声による応援や特定の選手・審判に対しての暴言等と判断し複数回注意しても大会役員の指示に応じただけでない場合、ベンチや会場から立ち退いていただく場合がございます。こども達の見本となるようナリスペクトある応援マナーにご協力をお願い致します。

- ⑪ 試合は、学年別チーム別で行います。若干の待ち時間がありますので、試合待ちのチームは選手控席（3階観覧席）にて待機させてください。
- ⑫ 当日は見学者も含め全員室内履きをご用意ください。また、荷物の管理は各チームでお願いします。盗難防止のためにも、貴重品の持ち込みはご遠慮ください。
- ⑬ 施設内にはトレーニングジム等の利用者がいらっしゃいます。利用者の妨げになるような場所での準備体操及びウォーミングアップ等のご遠慮願います。また、ボールを使ったウォーミングアップは出来ませんので、ボールは持ってこないでください。
見学席・駐輪場でのウォーミングアップは禁止です。
- ⑭ 試合では前・後半同じ番号のゲームベストを着用してください。なお、試合の前半に出場する選手は、ゲームベストの番号1～8を着用してください。また、試合開始前にあらかじめ前半に出場する選手、後半に出場する選手の外野3名を決めておいてください。（ヒットされ、脱いだベストは自分でカゴに入れること。）
- ⑮ 決勝リーグ・トーナメントに進出できないチームは自由解散となります。なお、お帰りの際は、引率者・広報カードを2階本部に返却してください。キャプテンマーク（リストバンド）とチーム名プラカードは返却する必要ありません。
- ⑯ 3年生・4年生の表彰式を12時頃に行います。各学年決勝リーグに進出したチームは、表彰がありますので、試合が終了しても帰らずに、必ず表彰式に出席してください。
なお、5年生・6年生の表彰式は16時40分頃を予定しております。
チームの横断幕等は3階観覧席からのみ掲出できます。ただし、スペースに限りがございますので当日の状況によってはお断りさせていただく場合もございます。
- ⑰ 各自で出されたごみは必ずお持ち帰りください。
- ⑱ 試合中のメガネ着用につきましては、ケガ・破損等も予想されますので、各自安全には十分注意をして参加させてください。主催者としたしましては、スポーツ専用メガネの着用を推奨いたします。
- ⑲ ピン止め等は滑り止め付きのパッチンピン等（材質シリコンも可）を使用してください。
- ⑳ 次の試合（ケガをした後の試合）に女子が出場できない場合について
a) 競技規則 第3条の4にあるように「失格」となります。
b) その場合の点数について、第7条の1から3と同様に相手チームの16対0の勝利となります。
c) 大会当日に体調不良などで6名になった出場チームで、男子がケガをした場合も同様の対応（当該試合のみ）となります。⇒次の試合 5名以下「失格」となります。
d) 主審による裁定後、両チーム引率者の了承により、親睦試合として試合を行うことができます。
- ㉑ ピン止め等は滑り止め付きのパッチンピン等（シリコン材質も可）を使用してください。
- ㉒ 当日は引率者も含め全員室内履きをご用意ください。靴を入れる袋は各自でご用意し管理ください。
- ㉓ フラッシュ撮影は禁止です。また混雑が予想されるため三脚等の使用はお止め下さい。
- ㉔ 大会当日に簡単なルール確認は行いますが、事前に競技規則をよく読み、十分に理解して試合に臨んでください。

疑問・質問などは以下までお問い合わせください。
なお大会当日につきましては大会本部にてお話しください。

公益財団法人 江東区健康スポーツ公社

江東区スポーツ会館 担当：津田・岡村

電話：０３－３６４９－１７０１